

2013年11月8日

愛知製鋼株式会社

ステンレス鉄筋の累計販売量2,500トンを達成、更なる普及に注力

～ コンクリート構造物の高耐久化に貢献 ～

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、社長：藤岡高広）は、2013年度上期に「ステンレス鉄筋コンクリートバー（商品名：サスコン）」の累計販売量2,500トンを達成した。今後は、普及活動に注力し、2020年を目処に年間販売量10,000トン超を目指す。

当社は、2001年にニッケル系ステンレス鉄筋（SUS304系ステンレス鉄筋）、2007年にクロム系ステンレス鉄筋（SUS410系ステンレス鉄筋）の販売を開始、また、建築用途への普及を促すため、2011年に業界で初めて、ニッケル系ステンレス鉄筋の国土交通大臣認定を取得、さらに、コンクリート二次製品への普及を狙い、2012年に業界で初めて、細径ステンレス鉄筋の販売を開始するなど、商品レパートリーの拡充を図ってきた。この間、2,500トン超の販売により、国内で100件を超える物件にステンレス鉄筋を供給するとともに、市場の認知度向上に努めてきた。

一方、規格などの面では、2008年にJIS規格「JIS G 4322 鉄筋コンクリート用ステンレス異形棒鋼」の制定、また、同年に公益社団法人土木学会から「ステンレス鉄筋を用いるコンクリート構造物の設計施工指針（案）」の刊行、さらに、2012年に道路橋示方書・同解説の解説文に塩害対策事例としてステンレス鉄筋に関する記述が追加されるなど、ステンレス鉄筋の活用を促す環境が整いつつある。

主な使われ方としては、橋梁の地覆鉄筋、橋梁の耐震補強、床版ほかの打継ぎ目、壁高欄ほかの目地部、港湾の護岸・岸壁工事、神社・仏閣および文化財の基礎・補強、GRCセメントの補強、コンクリート二次製品などのインサート、ステンレス構造材（支柱など）などのアンカー等、耐食性が求められる用途のほか、建築・土木工事において非磁性が求められる用途が挙げられる。最近では、普通鉄筋より高価なステンレス鉄筋を部分的に活用することで、コンクリート構造物の耐久性向上を狙った事例が増えてきている。

ステンレス鉄筋の最大の特長は優れた耐食性にあり、インフラ老朽化による維持管理・更新、インフラの高耐久化が進められるなか、当社は、豊富な商品レパートリーを取り揃えた「ステンレス鉄筋コンクリートバー（商品名：サスコン）」の普及活動に注力するとともに、その活用を官民の関係各所に働きかけ、コンクリート構造物の高耐久化に貢献していく。

なお、当社が提供する「ステンレス鉄筋コンクリートバー（商品名：サスコン）」を「メッセナゴヤ2013」（名古屋市：11月13～16日）においてパネル展示する予定である。

以 上

ステンレス鉄筋コンクリートバー「サスコン」の豊富な商品レパートリー



ステンレス鉄筋コンクリートバー「サスコン」 の商品レパートリー

◆ JIS規格 (JIS G 4322) のステンレス鉄筋 “SUS304-SD & SUS410-SD”

- ◆ オーステナイト系ステンレス鉄筋SUS304-SDは、非常に耐食性に優れ、さらに非磁性を特長とするステンレス鉄筋です。
- ◆ フェライト系ステンレス鉄筋SUS410-SDは、エポキシ樹脂塗装鉄筋などの代替となり得る、素材自体が耐食性に優れたステンレス鉄筋です。

ステンレス鉄筋の種類

種類の記号	相当鋼種	強度区分	寸法	形状	長さ
SUS304-SD	SUS304 SUS304N2	295B	D10 ～ D38	横筋 (竹節)	4～6M
		345			
		390			
SUS410-SD	SUS410L	295A			
		345			

◆ 国土交通大臣認定のステンレス鉄筋 “AUS304-SD295”

- ◆ 業界で唯一、オーステナイト系ステンレス鉄筋『AUS304-SD295』において、建築基準法第37条第二号に定める国土交通大臣の認定を取得しており、建築分野への普及を図っています。

◆ 細径のステンレス鉄筋 “ASCON-D4” (製造・販売: 愛鋼株式会社)

- ◆ 業界で初めて、“耐食性”と“ひび割れ分散性”を備えた細径のステンレス鉄筋『ASCON-D4』を商品化し、コンクリート二次製品への普及を図っています。

ステンレス鉄筋コンクリートバーの画像

